

ゲームに強いワケ

Radeonが

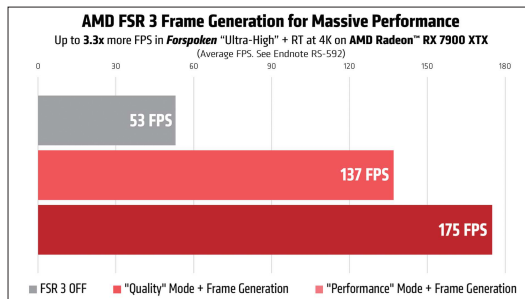
基本性能の高さや独自技術の「FSR3」「AFMF」に注目

強いワケ
1

フレームレートと画質向上の技術が満載

AMDは従来からゲームプレイの快適さを追求していることからRadeonの基本性能は高く、初期設定(ラスタライズ処理)では同クラスの競合製品を超えるようになった。しかも「RX 5000」以降なら、超解像技術「RSR」(Radeon Super Resolution)を利用できる。ゲーム側の対応なしで、画質やフレームレートを向上させる機能だ。最新の技術では、DirectX 11/12対応ゲームならOKという「AFMF」(AMD Fluid Motion Frame)に注目。これは、ゲーム映像のフレーム間にGPUが生成したフレームを挿入し、フレームレートを向上させる。またゲーム側の対応が必要だが、最新の「FSR 3」(FidelityFX Super Resolution)では、描画フレーム間の補完とともに、ラグを感じないよう画面表示の応答性を改善するのだ。

FSR 3では5種類のモードを設定可能



画質とのバランス優先の設定も



←フレームレート向上を優先したり、画質とのバランスを優先したりなど、好みに合うモードを自由に設定できる。

←FSR 3のモードは5種類。「ウルトラパフォーマンス」「パフォーマンス」「バランス」「クオリティ」「Native AA」があり、フレームレートや画質が向上する。

複数の高速化機能を一括で有効化する「HYPR-RX」

強いワケ
2

1クリックだけで自動的に有効化

「HYPR-RX」とは、Radeonの管理ユーティリティソフト「AMD Software: Adrenaline Edition」上で稲妻アイコンをクリックするだけで、インストール済みのゲームごとにさまざまな独自機能を一括で有効化するというもの。システムのタイムラグを減らす「Anti-Lag」、フレームレートを向上させる「Radeon Boost」、超解像技術のRSR、AFMF、描画フレームを補間するFSR 3などがまとめてオンになる。個別の機能の詳細が分からなくても、ゲームが対応している機能が自動で有効になるのだ。

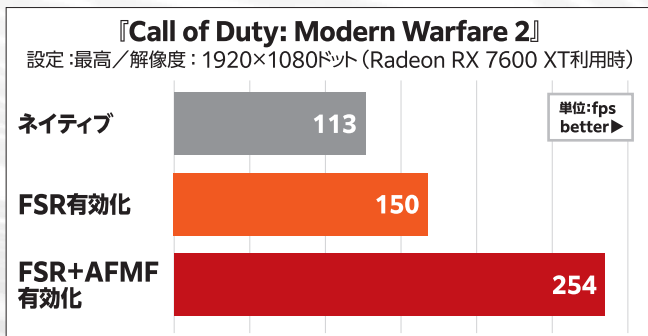
例えばAFMFの対応条件は左図の通りで、すでに数千ものゲームがHYPR-RXで手軽に有効化できる。手持ちのゲー

数千種類のゲームがAFMFに対応!

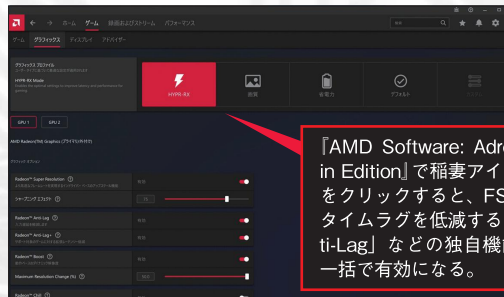
ゲームのAFMF対応条件

DirectX 11 対応	DirectX 12 対応	フルスクリーンモード
RX 7000 シリーズ	RX 6000 シリーズ	700Mシリーズ (CPU内蔵)

対応GPU



稲妻アイコンが快適化の「目印」だ



「AMD Software: Adrenaline Edition」で稲妻アイコンをクリックすると、FSRやタイムラグを低減する「Anti-Lag」などの独自機能が一括で有効になる。

ムが条件に当てはまるなら実際に試してみたり、ゲームを購入する際に参考にしたりしてほしい。過去に遊んだものでも改めてハマるかもしれないぞ。